

1次上級講義 [29回] 財務5回、経済5回、中小3回、他科目4回

各科目の傾向と対策を講じるために過去問分析を実施し、今後の学習指針を伝授します。その上で、各科目の特徴に応じた、再受験者に最適な無駄のない効率的かつ効果的な講義を実施します。重要領域を重点的に学習することで、知識の不安を取り除き、合格レベルに引き上げます。

⇒INPUT⇐

配布のみ

1次養成答練 各科目1回

基礎知識の確認と基礎力の養成を図るための1次試験対策の答案練習です。

⇐OUTPUT⇒

1次上級答練 [7回] 各科目1回

平成26年度までの1次試験の科目ごとの傾向に合わせた答案練習です。各回60分の答練を実施し、80分の解説講義を行います。本試験レベルの答練を実施しますので、早い時期から試験に向けた学習・復習に取り組むことができます。

⇐OUTPUT⇒

★その他にも自習用の基本レベル教材として「基本テキスト」「トレーニング」等も配布します。基本知識の再確認としてご使用ください。

⇒基本レベルの講義を受けたい方は、「1次基本単科生」(P5)を お申込ください。

1次完成答練 [14回] 各科目2回

TAC厳選の本試験予想問題を出題します(各回60分答練+80分解説)。これまでの学習の成果を確認し、直前期の学習計画を見直しましょう。

⇐OUTPUT⇒

1次公開模試 [2日]

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。全国最大級の受験者数で実施しますので、自分の合格の可能性を知るバロメーターになります。

※2015年は7月4日・5日を予定しています。
2015年合格目標1・2次上級本科生をお申込みの方は、1次公開模試の受験料がコース受講料に含まれております。

⇐OUTPUT⇒

1次最終講義 [7回] 各科目1回

1次試験対策の最後の総まとめです。法改正などのトピックも交えた最新情報をお伝えします。

⇒INPUT⇐

》》》ここがPOINT

**受験者数全国最大級の模試**

TACの公開模試は受験者数全国最大級。そのレベル・規模・フォローなどの全てにおいて自信を持ってお勧めできます。多くの受験者に支持され、2013年度のTAC公開模試受験者は、1次が4,407人、2次は2,889人にもなりました。

TACメソッド解説講義 [2回]

事例問題を解くためのスキルのベースとなる「TACメソッド」を伝授します。事例問題に共通するメソッドのほか、各事例に対応するためのメソッドなどを習得します。

⇒INPUT⇐

2次対策講義 [10回]

徹底した過去問分析に基づき、各事例に必要な基本知識のインプットを行います。しかし、単なるインプットだけではなく、それらの知識をどのように事例に適用させるかの観点から紐解いていきます。

⇒INPUT⇐

2次実力養成演習 [4回(各事例1回)]

これまで学習してきたことを、本試験と同様の80分の事例演習で確認していきます。演習後、60分の解説講義を行い、答案は添削して返却します。

80分

⇐OUTPUT⇒

2次実力チェック模試 [1日]

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。これまでの対策の成果を確認します。そして、課題を整理し、8月からの2次直前期に備えます。

※2015年5月3日を予定しています。
2015年合格目標1・2次上級本科生をお申込みの方は、「2次実力チェック模試」の受験料がコース受講料に含まれております。

80分

⇐OUTPUT⇒



「1次直前期」は1次対策に集中できるよう、2次対策の講義・演習をあえてカリキュラムに含めていません。
1次対策に余裕があり、さらに2次対策を充実したい方は、「受験経験者コースパンフレット」(9月上旬発行予定)にてご案内する「2次実力完成演習」

》》》ここがPOINT

TACの演習問題は、全てTACオリジナルです。

(既存の過去問等を一切使用しません)

80分

本試験と同様の80分間の演習・模試を実施します。
「2次実力養成演習」以外は、本試験に合わせた難易度に設定しています。

2次直前演習 ①～④

[4回(各事例1回)]
これまで に培ってきたスキルを発揮して、本試験レベルの実践的な事例演習(80分)にチャレンジします。演習後、60分の解説講義を行い、答案は添削して返却します。

80分

⇐OUTPUT⇒

2次公開模試 [1日]

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。全国最大級の受験者数で、自分の実力をより正確に測ることができます。
※2015年9月6日を予定しています。
2015年合格目標1・2次上級本科生をお申込みの方は、「2次公開模試」の受験料がコース受講料に含まれております。

80分

⇐OUTPUT⇒

2次直前演習 ⑤～⑫

[8回(各事例2回)]
本試験直前の最後の追い込みとして、80分の実践的な事例演習を行います。演習後、60分の解説講義を行い、答案は添削して返却します。

80分

⇐OUTPUT⇒